

## 2024年度事業報告書

(2024年1月1日～12月31日)

特定非営利活動法人 国連ウィメン日本協会

### I 事業の成果

2024年は3年目に入ったロシアのウクライナ侵攻、イスラエルのガザ攻撃に関する国連関係機関およびWHO, ILOなど他の国際機関トップによる声明も効果がなく、厳しい状況が続き、イスラエル軍はレバノン攻撃も始めました。また、スーダンにおける内乱の激化について国連事務総長は、「ジェンダーに基づく暴力が2倍に増加し、スーダンの人道危機は女性と少女に壊滅的な影響を与えている」と発表しました。日本協会としては厳しい状況下にいる女性と少女に多くの支援を届けられるよう広報・募金活動をしました。

UN Womenとは、2024-2026の承認協定を結び、各国の国内委員会とも連携しています。コンサルタントとして本部との連携に配慮してくれたSanjay氏が8月に退職されました。UN Women日本事務所とは、昨年11月で退任された福岡所長が日本協会の総会で挨拶をされ、国際女性デーイベントにも参加され、日本事務所で協会との会議を開催するなど、関係が進みました。

世界における現状の広報のために、イベントとして、国際女性デーでは、コンサートを国際文化会館で開催し、国際ガールズデーと女性に対する暴力撤廃国際デーには、日本女性学習財団との共催によりオンラインで開催しました。

face to faceの募金を検討するため、3業者のプレゼンによる見積書を検討した結果、本協会の予算には見合わないことがわかり、断念せざるを得ませんでした。

事務局の充実・強化のためにいただいた多額の活動費寄付を基金とし、2名と業務委託契約を結び、今まで人材不足でできなかったことが解消されつつあります。一人は、理事長付き特別補佐として、ファンドレイジングの強化にあたり、イニシアティブをとり、face to face募金の代わりに「国連ウィメン・マンスリーサポーター」キャンペーンを立ち上げ、HP、Facebook広告等で7月1日から6か月間募集したところ、41名の賛同を得ました。

もう一人は、コミュニケーション担当として、翻訳を中心に国際チームの理事と連携を取り、UN Womenの最新情報をHPや各SNSで情報を発信しています。その結果、日本協会各SNSのフォロワー数が、増えつつあります。

しかしながら、国内における甚大な災害があったためか、一般の個人寄付は、件数も金額も思わしくありません。今後は、都度寄付やマンスリーサポーターに加え、遺贈寄付並びに企業寄付の拡大に努めていきたいです。

### II 事業内容

#### 1 特定非営利活動に係る事業

(1) 日本の社会にUN Womenについての理解を深めるための広報活動事業

ア 情報発信広報啓発普及事業

- ・内容 ① UN Women、国連ウィメン日本協会、協力協定団体等の活動を広く社会に広報するために、ニューズレター「国連ウィメン日本協会」を制作、発行 25号(1月:2,500部) 26号(6月:2,500部)。
- ② ホームページ「国連ウィメン日本協会」の適時更新・改訂作業
- ③ UN Women本部からのニュースリリース等を随時翻訳し、ホームページ(81本)、X、Facebookに掲載、その他資料等を随時翻訳した。
- ④ Facebookのフォロワー数は、2024年度514から2024年度末までに648に増え、3イベントと5キャンペーンでFacebook広告を活用した。
- ⑤ Xのフォロワー数は68となり、7月からはInstagramを開始した。
- ⑥ メールマガジンを発行し募金・情報の発信に努めた。登録者3,400人

- ・通常号：第102号（1月）から第113号（12月）、
- ・臨時号：（国際女性デーイベント2月3回、国際ガールズデー9月、暴力撤廃11月、12月）全6回
- ・マンスリーサポーターキャンペーン特集号1号～16号
- ⑦ UN Women 及び国連ウィメン日本協会を各地で広報
- ・淑徳高等学校2年 理事長  
日時：2月18日（月）場所：オンライン 参加者：1名
- ・ラルフローレン合同 理事長  
日時：3月28日（火）場所：オンライン 参加者：30名
- ・国連ウィメン日本協会北九州30周年記念 理事長  
日時：12月8日（日）場所：北九州市男女共同参画センター・オンライン 参加者：200名

- ・日時 通年
- ・場所 全国
- ・従事者人員 15人
- ・受益対象者 一般市民 多数
- ・支出額 4,954,750円

#### イ 情報提供・理解促進のための各種事業

- 内容 ①「国際女性デー」ウクライナ支援 チャリティ ランチ コンサート  
「～カテリーナ チャリティ コンサート 「平和への祈り」～  
登壇者：カテリーナ 氏
- ②国連「国際ガールズデー」オンライン チャリティ イベント  
「紛争下における南スーダンの少女たちの状況」  
登壇者：会田有紀 氏（UN Women 南スーダン事務所 Monitoring and Reporting Specialist）
- ③2024年「女性に対する暴力撤廃国際デー」オンライン チャリティ イベント  
「ガザにおける女性や少女に対する暴力について」  
登壇者：吉田美紀 氏 UNRWA（国連パレスチナ難民救済事業機関）ガザ事務所 戦略立案チームリーダー
- ・日時 ①3月5日（火）12時-14時 ②10月6日（日）16時-17時半  
③12月7日（土）16時-17時半
  - ・場所 ①国際文化会館 ②③Zoom ウェビナー（オンライン開催）
  - ・従事者人員 ①13人、②③各15人
  - ・受益対象者 ①110人 ②160人 ③172名
  - ・支出額 2,164,906円

#### (2) 関係機関・団体に対する UN Women への協力促進活動事業

##### ア 国際的な協力・連携事業

- 内容 ①CSW中に開催されたUN Women国内委員会会議に理事が参加  
②UN Women国内委員会会議に理事が参加。
- ・日時 ①3月10日-15日 ②10月8日-10日
  - ・場所 ①UN Women事務局 ②UN Women フィンランド（ヘルシンキ）
  - ・従事者人員 ①2名 ②2名
  - ・受益対象者 ①②世界の女性
  - ・支出額 623,843円

##### イ UN Women 日本事務所との協力・連携事業

- 内容 ①UN Women日本事務所との会合  
②福岡所長が出席

- ・日時 ①1月29日、6月6日、11月6日  
②2月24日（総会）、3月5日（国際女性デーイベント）
- ・場所 ①UN Women 日本事務所（文京区）・Zoom（オンライン開催）  
②婦選会館、国際文化会館
- ・従事者人員 ①5名、②13名
- ・受益対象者 世界の女性
- ・支出額 69,246円

#### ウ 外務省を始めとし各省庁・自治体・団体等との協力促進・連携事業

- 内容 ①グローバルフェスタ 2024JAPAN  
②内閣府男女共同参画推進連携会議に団体推薦議員として理事が参加
- ・日時 ①9月26日-27日 ②10月11日
  - ・場所 ①新宿住友ビル三角広場 ②オンライン
  - ・従業者人数 ①15人 ②2人
  - ・受益対象者 ①②一般市民
  - ・支出額 65,387円

### (3) 募金活動による UN Women への支援活動事業

#### ア UN Women への拠出のための（募金・寄付による）ファンドレイジング事業

##### 内容 UN Women 募金・寄付金

年間を通して、会員・企業・団体・個人・協力協定団体等による募金・寄付活動が活発に行われた。

2024年度 UN Women 募金・寄付金総額 21,535,704円

2024年度 UN Women への拠出金額 16,512,773円(103,993.63ドル)

##### 拠出金の内訳

- ① ウクライナ支援 3,435,995円(21,444.16ドル)
- ② ガザ危機支援（レバノン含む） 3,750,000円(23,870.14ドル)
- ③ ロヒンギャ難民キャンプ 1,500,000円(9,548.06ドル)
- ④ アフガニスタン支援 750,000円(4,774.03ドル)
- ⑤ エチオピア(ICT)支援 1,500,000円(9,272.42ドル)
- ⑥ 女性に対する暴力撤廃国連信託基金 1,500,000円(9,548.06ドル)
- ⑦ コア（緊急支援含む） 4,076,778円(25,536.76ドル)

- ・日時 募金・寄付は通年
- ・場所 全国
- ・従事者人員 15人
- ・受益対象者 世界の女性
- ・支出額 17,404,007円

### (4) UN Women 及び国連ウィメン日本協会の名称・ロゴ使用に関する業務事業

#### ア UN Women 及び国連ウィメン日本協会の名称・ロゴの管理事業

- ・内容 UN Women 及び国連ウィメン日本協会・協力協定団体の名称・ロゴの使用に関し、協力協定団体、企業等に周知を図り管理・監督に努めた。  
協力協定団体については、ネットワーク会議を開催し、情報・意見交換等を行った。

- ・日時 2月24日（土）13:00～15:00
- ・場所 婦選会館（市川房枝記念会女性と政治センター）多目的ホール
- ・従事者人員 13人
- ・受益対象者 一般市民 協力協定団体会員
- ・支出額 211,441円

## 2 その他の事業

### (1) その他募金活動に関連する収益事業

本年度は実施していません。